

若手クラブ仕事人の夢メッセージ

安井 妙子さん

1. 最初はアルバイトから。やりがいを感じてマネジャーに

安井妙子さんは、現在、愛知県名古屋市中区で活動している NPO 法人愛知スポーツ倶楽部（以下、クラブ）のクラブマネジャーとして働いています。高校、大学とホッケーを続けていた経緯もあり、まずアルバイトとしてこちらのクラブで働くようになったそうです。

最初は教員を目指す傍らでのアルバイトでしたが、クラブで働く中で、地域の皆さんにスポーツができる環境を提供・整備していく仕事にやりがいを感じてきました。そこで、日本体育協会公認アシスタントマネジャーの資格を取得し、平成23年4月、クラブマネジャーとなりました。

「身体を動かすことが大好きなので、まさか自分がスポーツをする側ではなく、スポーツをする環境を提供していく側、いわば裏方に回ることになるとは思ってもみませんでした」と笑顔で話していました。



2. 事務作業全般から調整・運営、そして指導も

スクールや大会の日程・場所および指導者・スタッフの調整、大会や指導者講習会の運営、会報の原稿作成、その他事務作業の全般を行っています。フラワーカップ（愛知ホッケーリーグの通称。ホッケー普及プロジェクトの中心事業）という大規模な大会も、安井さんが中心となり運営をしています。また、グラウンドに出て安井さん自身がホッケーの指導をすることもあります。

仕事が忙しく大変な時もありますが、現場に出て、会員の皆さんが笑顔で活動しているところを見ると、もっと充実した環境でスポーツができるような取り組みを行っていこうという気持ちが湧くといいます。会員の皆さんの笑顔こそ安井さんのパワーの源だそうです。

3. 今後したいことや将来の夢、目標について

「今後は地域に根ざしたクラブ、参加者・指導者に充実した活動を提供できるクラブを目指していきたいと思っています。今は既存の活動を維持していくことで精一杯ですが、新たな会員の獲得に向けて、種目数を増やす取り組みをしていきたいです」と安井さん。

また、クラブ所有のグラウンドをもち、クラブハウスを建設することがクラブの目標です。現在は活動場所の確保に大変苦勞しています。市の施設が抽選で当たった日でスケジュール調整を行い、大会やスクール



を行っているのが現状であるため、決まった曜日・時間でのプログラム開催が困難な状況です。グラウンド・クラブハウスを作るためには多くの壁がありますが、地域の皆さんがより参加しやすく、子どもからお年寄りの方までスポーツを楽しめる環境を整備するため、長期的なプランを練って取り組んでいきたいと考えているそうです。

このような話を聞いていて、安井さん自身のパワーの源は会員の皆さんや地域の皆さんであると感じ、「地域のために！！」という熱意と愛情が伝わってきました。

(藤田佳保里 愛知県クラブ育成アドバイザー)

【NPO 法人愛知スポーツ倶楽部（愛知県名古屋市） プロフィール】

1. 設 立 年月日：平成 17 年 5 月 21 日
経緯：ホッケーの実業団チームをクラブチーム化するにあたりクラブを設立。
2. 地 域 人口：名古屋市約 226 万人（平成 24 年 10 月現在）
特性：大都市には空間的なゆとりがあり、生活・産業・文化とバランスがとれたまち。
味噌カツ、小倉トースト、あんかけパスタなど特有の食文化が有名。
3. 運 営 会員数：75 名（平成 24 年 11 月 12 日現在）
予算：2,700 万円（toto 助成金、寄付金含む）
4. 特 徴 運営委員は地域の企業から構成され、ホッケーではトップレベルをめざす。トライアスロンにも力を入れている。
5. 連絡先 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4-2-11
TEL: [0 5 2 - 8 5 6 - 1 5 1 1](tel:052-856-1511) FAX: 0 5 2 - 8 5 6 - 1 5 1 2
E-mail info@aichisportsclub.com
HP <http://www.aichisportsclub.com/>

関連リンク:藤田佳保里氏プロフィール

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/481/Default.aspx>